

## ターボリビルドの專業大手 TTSホールディングス

リサイクル  
 北から南から



ターボテクノエンジニアリングの工場

ターボチャージャー(過給機)リビルドの專業大手TTSホールディングス(TTSHD)は、西和己社長、東京都大田区は、バス、トラックなどの商用車の需要増加や乗用車の小型化志向、燃費向上などを背景に好調に販売を伸ばしてきた。一昨年2月には、TTSグループの製造会社・ターボテクノエンジニアリング(西和己社長、埼玉県浦和市)が工場拡張を目標し、同市の浦川東部工業団地に移転・新設。設備投資にも積極的な姿勢を示す。

全国販売網を構築する。設立と同時に、本社(TTSHDは、1995年(東京都大田区)と三重県伊勢市で生産工場を開設したほ

リビルド部品の在庫



リビルド部品の在庫



回収部品の分解作業

## 積極的な投資で生産性向上

### 研修設備備え部品商支援

ターボテクノエンジニアリングの工場は3階建てで、スバル埼玉製作所(北本市)に程近い場所にある。工場の1階は分解、洗浄などの作業場だ。2階では部品の組み立てや品質検査などを行い、3階は事務所となっている。従業員は36人で、大半がリビルド作業に従事する。作業現場で

ターボテクノエンジニアリングの工場は3階建てで、スバル埼玉製作所(北本市)に程近い場所にある。工場の1階は分解、洗浄などの作業場だ。2階では部品の組み立てや品質検査などを行い、3階は事務所となっている。従業員は36人で、大半がリビルド作業に従事する。作業現場で



自社開発したコンプレッサオイル(右)と金属疲労で割れた部品

は「分解・洗浄グループ」「部品グループ」「組立グループ」の3グループに分かれている。同社の取り組みとしては、VGS(可変バルブ)ターボチャージャーの流量測定や開閉確認、コンピュータを使用した故障診断などの品質検査が挙げられる。また、構成機器のリンク部や裏などの開発も自社で担うなど、ターボチャージャーの専門リビルドメーカーとして品質の改善に熱心だ。

一層の販売増見込む  
 同社では「各社製品の特徴を分析して改善を続けること」で安心して使ってもらえる信頼性の高い製品の提供が方針だとしている。また、工場敷地内には研修施設「TTS ETC」を備え、全国の部品商経営者らを集めてターボチャージャーの商品知識を伝授し、ユーザーからの苦情解消や適切な商品説明につなげてもらう。ターボテクノエンジニアリングでも、製品の故障の原因や特徴などの周知徹底を図る。これらの取り組みがユーザーからの信頼獲得につながっているといえる。

工場のリビルド生産台数は月間2千台に上り、17年度はバスやトラックといった商用車の需要増や乗用車の小型化などにより前年同期比20%増の2万4千台を計画。とくに、トラック向けは「排ガス規制に対応した大型車メーカー各社の新車への投入によりさらなる販売増加が見込める」と(同社)と期待感を示す。

## ためまぬ品質改善 信頼の製品提供

リサイクル / 環境